

名城沖尚理事長 名誉市民の称号

台湾嘉義市が贈る

台湾嘉義市は22日、沖縄尚学の名城政次郎理事長に名誉市民の称号を贈った。



名城さんが沖縄県台湾会の会長を長年務めたほか、沖縄尚学が台湾の学生や野球チームと頻繁に交流するなど、日台友好に貢献したことが評価された。

名城さんは台湾が日本の植民地統治下だった1930年、嘉義市生まれ。15歳で家族とともに日本へ引き揚げた。

嘉義市の黄敏恵市長(左)から名誉市民証書を受け取る名城政次郎さん(22日午後、台湾・嘉義市役所(提供))

授与式で黄敏恵嘉義市長は「市のために尽力していただき感謝している。野球の交流もぜひお願いしたい」とお礼を述べた。名城さんは「嘉義市は故郷も同然。賞にふさわしい活動をしていきたい」と抱負を述べた。同市の名誉市民は日本人2人目という。